

熊本地震への支援活動

支援の思い届けます

●中根小からの支援

6月16日、中根小学校の児童が熊本県への義援金を根本市長に届けました。義援金額は4万5千円。これは6月4日に開催された自校の運動会で募金活動を行った際に寄せられたものです。

募金活動は福祉委員会が中心になり、運動会開催前に手作りのチラシで募金活動を保護者に周知し、当日は子どもたちが募金箱を持って募金を呼びかけました。6年生の^{こたけ ゆな}小竹由菜さんは「困っている人の役に立ちたい」、同じく6年生の^{まひろ}糸賀万紘さんは「いつ牛久市も地震がくるかわからない、熊本県の人たちを助けたかった」と話してくれました。



中根小のみんなの思いが詰まった義援金を届けました

●義援金を熊本県へ送金

4月19日から市役所および市内各公共施設等で行っていた熊本県への義援金活動で、5月31日までに皆さんから寄せられた245万2,512円を熊本県へ送金しました。

なお、義援金活動は6月末日をもって終了しました。ご協力ありがとうございました。

義援金の総額は「広報うしく」8月1日号でお知らせします。

全日本選手権東関東連盟大会で優勝

牛久リトル、全日本大会へ

牛久リトルリーグ・メジャーチームは、5月に開催された「全日本選手権東関東連盟大会」で優勝しました。同チームは、6月10日に根本市長を表敬訪問し、「JA共済杯第50回全日本リトルリーグ野球選手権大会」へ3年連続、6回目の出場を決めたことを報告しました。

中学1年生でキャプテンの浅利^{はると}遥斗さん(写真中央)は、「ケガで5月の試合には出られなかったけど、全日本大会で優勝して世界大会に出たいです」と意気込みを語り、根本市長は「全国大会の大きな舞台で頑張ってください」と激励しました。



久野行政区と子供会の合同行事

バーベキューで地域の交流を図ります

5月21日、五月晴れの爽やかな陽気の下、中根会館で久野行政区のバーベキュー大会が行われ、子供会22人を含む37人で賑わいました。この行事は例年準備などを行政区でサポートして、子供会と行政区の合同により行われているもので、去年は流しそうめん大会が行われ、地域の子どもたちも楽しみにしている行事です。行政区の役員が準備した肉や魚のほか、地元産の力

ボチャや玉ネギ、イチゴなどを美味しくいただきました。次の合同開催行事を楽しみに子どもたちは帰路につきました。



バーベキューで世代を超えた交流をしました

春の叙勲

受章おめでとうございます

「春の叙勲」と警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では10人の方が受章されました。

おめでとうございます。

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。

●平成28年 春の叙勲

瑞宝双光賞

山本 正行 (元障害者支援施設「尚恵厚生園」副園長)

●第26回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

大津 信道 (元茨城県警部)

津留崎繁雄 (元警視庁警部)

外尾 直征 (元警視庁警部)

本館 昭久 (元警視庁警部)

瑞宝単光章

永吉 大作 (元警視庁警部)

山本 次男 (元茨城県警部補)

今年もおいしい「うしく河童西瓜」ができました！

6月3日、小坂町のJA竜ヶ崎牛久宮農経済センターで牛久のブランド野菜「うしく河童西瓜」の目揃会が開催され、東京市場等へ約600玉が出荷されました。

うしく河童西瓜は、シャリシャリした食感で糖度が高いのが特長。目揃会では、並べたスイカを色や形、たたいた音で等級に分け、大きさごとに梱包します。

JA竜ヶ崎西瓜生産部会の栗山光夫部会長は、「4月中旬の着果時期に天候に恵まれ、出来が良

かった。今日のスイカはまさにその時期のスイカでおいしいですよ」と話していました。根本市長は、「河童西瓜はわたしたち牛久の誇りです。地域でブランド化を進めていきたい」と語りました。



2



3

1 西瓜の品質を確認する生産者たち

2・3 うしく河童西瓜は東京でも人気です！



1

シャトーカミヤ災害復旧工事完了

震災後、新たなスタート

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けた「シャトーカミヤ」。施設内の旧醸造場施設は一部施設の公開を休止していましたが、災害復旧工事完了を受け、7月1日より一般公開を再開します。

工事では外観を損ねないように室内壁面での補強工事などがなされました。「シャトーカミヤ」は国の重要文化財に指定され、牛久市の観光名所の一つとなっています。



年間に約40万人の来場者があります

牛久市消防団が第65回利根川水系連合・総合水防演習、分団長・部長・新入団員訓練に出動しました！

市民の安全と安心のために！

●第65回利根川水系連合・総合水防演習

5月21日、取手市の取手緑地運動公園(利根川河川敷)において、「第65回利根川水系連合・総合水防演習」が行われました。国や県の機関、自衛隊、消防、県南地域の消防団、企業や住民組織など約1,000人が集まり、水防団(消防団)による水防演習や自衛隊・消防署による救出訓練などを実施しました。牛久市消防団は団員40人が2班に分かれ、水防工法の実技に参加し、石井美知夫副団長と入江唯晃副団長の指揮の下、厳正な規律と旺盛な士気により熱心に取り組みました。



1



2



3

●新入団員訓練

5月29日、牛久運動公園多目的広場で牛久市消防団の分団長・部長・新入団員訓練が行われました。新入団員にとってはこれが初めての訓練で、消防団本部および牛久消防署の指導により、消防活動の根幹をなす規律訓練を中心に、消防ホースの扱い方、緊急自動車の運転時や消火活動中の安全確保についても学びました。分団長と部長は、新入団員と共に訓練をすることで、上級者としての気持ちを新たにしました。

- 1 堤防漏水を防ぐため土のうを半円形に積み「改良月の輪工」の実践の様子
- 2 規律訓練の様子
- 3 消防ホースの結合は、迅速・確実に

みんなで楽しく、歩きました



1



2

1 参加者全員元気に完歩しました

2 開会式では参加者全員で体操を行いました。出発に向けて準備万端です

5月21日、すがすがしい天気の中、市制施行30周年記念第11回「牛久健康ウォーク」が開催され、市内外合わせ411人が参加しました。

当日は、ひたち野うしく小学校3年生児童の元気な掛け声と、かっぱバンドの演奏と共に出発。シャトーカミヤや牛久沼などの牛久の名所を巡るコース、女化神社や森林を通るコースを歩き、参加者全員が完歩することができました。

完歩後も抽選会や物産展、豚汁やかっぱ米おにぎりのサービスなどがあり、参加者はゆっくりと楽しんでいました。また、参加者からは「14kmも歩くことができたので自信がついた」、「とても楽しく歩くことができた」、「来年も参加したい」などの声も聞かれました。



きりんぐみ

むかいほらほいくせん とも たなばた たんざく
向原保育園のお友だちは、七夕の短冊と、飾りを披露してくれました。

これは、保育参観の日にお家の人と一緒に作成したもの。当日は、折り紙で貝がらやちょうちんの飾りなどをみんなで楽しくつきました。そして自分で短冊に願い事を書きました。短冊には大きくなったらなりたいものや欲しいものが書かれています。

これから七夕に向けて笹の葉に飾ります。みんなの願い事が叶いますように。



おとこ こ ひこぼし おんな こ おりひめ たんざく つく
男の子は彦星、女の子は織姫の短冊を作り、願い事を書きました